

# 地域低利用魚の現在と未来

本研究会では、「地域低利用資源」を学術的な視点から再評価し、地元企業と共有して新たな活用方法を検討し、低利用魚の食品以外の利用に可能性を見だし、試作を通じて商品化の方向性を模索することを目指しています。水産資源には地元でのみ利用される食材などが存在し、主要魚種の減少と価格上昇による問題も生じています。これらの資源のうち、漁獲されながらも廃棄される低利用魚の存在も顕著であり、SDGsの観点からも問題視されています。

今回は底引き網漁における低利用水産資源について、関係者とのオープンな検討の場を設け、大学においては漁業者や関係者の協力を得て基礎的な知見を蓄積してきました。この蓄積された知見や商品化に関するノウハウを持つ企業と共有し、研究会を開催することで、地域の研究拠点としての役割を果たし、異分野との共同研究を推進しています。皆様のご参加をお待ちしています。



【日時】令和5年8月18日(金) 13時～15時

【場所】石巻専修大学 4号館1階 4101教室

【対象】本研究会に興味のある方、自治体職員、教職員・学生、研究者等一般の方でも参加できます。

【申込方法】題名を「地域低利用資源研究会参加申込み」として、下記の事項を記入し、8月10日(木)まで、E-mailにてお申し込みください。

①氏名 ②所属・役職 ③電話番号 ④メールアドレス

E-mail⇒[kaiho@isenshu-u.ac.jp](mailto:kaiho@isenshu-u.ac.jp)

【内容】三陸沖の底引き網で漁獲される低利用魚の有効利用

(講師：理工学部 准教授 鈴木 英勝)

低利用魚に向けた取り組み

意見交換

※地域低利用資源(低利用魚)研究会は、KCみやぎ産学共同研究会により実施します。

\*お問合せ\*

石巻専修大学事務課(学務担当)研究支援係

電話・・・0225-22-7716

主催：石巻専修大学

開催協力：一般社団法人食のみやぎ応援団

株式会社かね久